

船舶事故等調査報告書

平成26年11月27日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2014長第57号
事故等種類	衝突
発生日時	平成26年6月28日（土） 07時25分ごろ
発生場所	長崎県松浦市初埼北西方沖（伊万里湾北部） 初埼灯台から真方位304° 100m付近 （概位 北緯33° 25.0′ 東経129° 47.7′）
事故等調査の経過	平成26年7月1日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 漁船 幸福丸、4.97トン NS3-500957（漁船登録番号）、個人所有 B ゴムボート（船名なし）、全長2.65m なし、個人所有
乗組員等に関する情報	A 船長A、一級小型船舶操縦士 B 操縦者B、二級小型船舶操縦士
死傷者等	なし
損傷	A なし B オールが折損
事故等の経過	A船は、船長Aが1人で乗り組み、船長Aが操舵室内で立って操舵し、約9ノットの対地速力で手動操舵により、初埼北西方沖を航行中、平成26年6月28日07時25分ごろ、A船の船首部とB船の左舷中央部とが衝突した。 B船は、操縦者Bが1人で乗り、初埼北西方沖で船首を北に向け、釣りをして錨泊中、B船とA船とが衝突した。 A船は、衝突に気付かずに航行を続け、B船は、転覆し、操縦者Bが、落水したが、救命胴衣を着用しており、付近を航行中の船舶に救助された。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風 なし、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 上げ潮の中央期
その他の事項	船長Aは、本事故発生場所付近に他船はいないと思っていた。 操縦者Bは、衝突直前に左舷側から接近するA船に気付き、錨索を放し、オールを漕いで避航しようとしたが、A船と衝突した。
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与	A あり、B なし A なし、B なし A なし、B なし

判明した事項の解析	<p>A船は、初埼北西方沖を航行中、船長Aが、船首方に他船はいないと思い、B船に気付かなかったことから、B船と衝突したものと考えられる。</p> <p>B船は、初埼北西方沖で釣りをして錨泊中、操縦者Bが、衝突直前に接近するA船に気づき、錨索を放し、オールを漕いで避航しようとしたものの、A船と衝突したものと考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、初埼北西方沖において、A船が航行中、B船が釣りをし錨泊中、船長AがB船に気付かなかったため、両船が衝突したことにより発生したものと考えられる。</p>
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none">・航行中は、常時、見張りを適切に行うこと。